

商業簿記・会計学 / 答案用紙

商業簿記 / 117回 - 問題は本文2頁, 解答・解説は本文80頁

問1

(単位: 千円)

科 目	個別財務諸表				連結財務諸表	
	P 社		S 社			
貸借対照表						
現金預金	200,000		90,000		()	
売掛金	50,000		15,000		()	
商品	12,000		8,000		()	
繰延税金資産	11,000		10,000		()	
土地	100,000		30,000		()	
備品	20,000		15,000		()	
					()	
S社株式	95,000		—		()	
A社株式	36,000		—		()	
その他資産	284,000		200,000		()	
買掛金		40,000		20,000	()	()
繰延税金負債		6,000		5,000	()	()
その他負債		391,000		241,000	()	()
貸倒引当金		1,000		300	()	()
資本金		150,000		50,000	()	()
資本剰余金		80,000		10,000	()	()
利益剰余金		140,000		41,700	()	()
					()	()
合計	808,000	808,000	368,000	368,000	()	()
損益計算書						
売上高		300,000		130,000	()	()
売上原価	240,000		108,000		()	()
諸費用	40,000		18,000		()	()
諸収益		17,000		7,000	()	()
					()	()
					()	()
法人税等	16,900		4,840		()	()
法人税等調整額		2,100		540	()	()
					()	()
当期純利益	22,200		6,700		()	()
合計	319,100	319,100	137,540	137,540	()	()

問2

利益剰余金当期首残高 () 千円

利益剰余金増加高 ()

利益剰余金減少高 ()

利益剰余金当期末残高 () 千円

第1問

イ	ロ	ハ	ニ	ホ

第2問

1	円
2	円
3	円
4	
5	

第3問

譲渡人の会計処理

C社の場合

譲渡時:

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	100	()	()
		()	()
()	()	現金預金	5

毎年度:

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	2	()	2

D社の場合

譲渡時:

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	100	()	100
()	30	現金預金	30

毎年度:

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	6	()	()
()	()		
()	4	現金預金	4

商業簿記 / 119回 - 問題は本文6頁, 解答・解説は本文91頁

損		益		(単位: 千円)
摘 要	金 額	摘 要	金 額	
3/31 仕 入		3/31 一 般 売 上		
" 棚 卸 減 耗 損		" 割 賦 売 上		
" 商 品 評 価 損		" 繰 延 割 賦 売 上 利 益 戻 入		
" 繰 延 割 賦 売 上 利 益 控 除		" 有 価 証 券 利 息		
" 販 売 費		" ()		
" 一 般 管 理 費				
" 減 価 償 却 費				
" 退 職 給 付 費 用				
" 支 払 手 数 料				
" 貸 倒 引 当 金 繰 入				
" 関 連 会 社 株 式 評 価 損				
" ()				
" 法 人 税 等				
" 繰 越 利 益 剰 余 金				

決 算 残 高		決 算 残 高		(単位: 千円)
摘 要	金 額	摘 要	金 額	
3/31 現 金 預 金		3/31 支 払 手 形		
" 売 掛 金		" 買 掛 金		
" 割 賦 売 掛 金		" 未 払 費 用		
" 繰 越 商 品		" 繰 延 割 賦 売 上 利 益		
" 前 払 費 用		" 未 払 法 人 税 等		
" 未 収 収 益		" 貸 倒 引 当 金 (売 上 債 権)		
" 先 物 取 引 差 金		" 貸 倒 引 当 金 (長 期 貸 付 金)		
" 繰 延 税 金 資 産		" 繰 延 税 金 負 債		
" 建 物		" 退 職 給 付 引 当 金		
" 土 地		" 建 物 減 価 償 却 累 計 額		
" 満 期 保 有 目 的 債 券		" 資 本 金		
" そ の 他 有 価 証 券		" 資 本 準 備 金		
" 関 連 会 社 株 式		" そ の 他 資 本 剰 余 金		
" 長 期 貸 付 金		" 利 益 準 備 金		
" ()		" 任 意 積 立 金		
		" 繰 越 利 益 剰 余 金		
		" そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		
		" ()		

商業簿記
会計学

原価業
簿記算記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

a		b	
c		d	
e		f	
g		h	
i		j	

第2問

1 a () b ()

2 (借手側)

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
a				
b				
c				

(貸手側) リース取引開始日に売上高と売上原価を計上する方法によること

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
a				
b				
c				

第3問

商業簿記 / 120回 - 問題は本文 12頁, 解答・解説は本文 102頁

(問1)

貸借対照表

(単位：千円)

現金預金 ()	買掛金 ()
売掛金 ()	<input style="width: 100%;" type="text"/> ()
積送売掛金 ()	未払法人税等 ()
貸倒引当金 (△)	社債 ()
<input style="width: 100%;" type="text"/> ()	その他負債 67,245
商品 ()	資本金 100,000
積送品 ()	資本準備金 20,000
<input style="width: 100%;" type="text"/> ()	その他資本剰余金 88,000
前払販売費 350	利益準備金 3,500
建物 ()	任意積立金 55,000
減価償却累計額 (△)	繰越利益剰余金 ()
備品 ()	<input style="width: 100%;" type="text"/> ()
減価償却累計額 (△)	<input style="width: 100%;" type="text"/> ()
土地 ()	/
投資有価証券 ()	
<input style="width: 100%;" type="text"/> ()	
<input style="width: 100%;" type="text"/> ()	
その他資産 85,000	
×××	×××

(問2)

(単位：千円)

積送売上高	()
棚卸減耗費	()
商品評価損	()
販売費	()
社債利息	()
為替換算差損益	()

(差損の場合には、数字の頭に△印を付すこと。)

商業簿記
 原価業簿算記
 117
 119
 120
 122
 123
 125
 126
 128

第1問

1	2	3	4	5

第2問

(単位：千円)

	借方科目	金額	貸方科目	金額
問1				
問2				

第3問

株主資本等変動計算書

平成19年4月1日～平成20年3月31日

(単位：千円)

	株主資本										評価・換算差額等			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券	繰延ヘッジ損益	評価差額・等換算計		
		資本準備金	資本剰余金	資本剰余金計		利益準備金	利益剰余金	利益剰余金計							
当期首残高	10,000	400	250	650	620	200	1,400	2,220	△ 500	12,370	140	40	180	200	12,750
当期変動額															
新株の発行 (新株予約権の行使)															
剰余金の配当															
別途積立金の積立															
当期純利益															
自己株式の取得															
自己株式の処分															
株主資本以外の 項目の当期変動額															
当期変動額合計															
当期末残高											170	30			

商業簿記 / 122回 - 問題は本文 18 頁, 解答・解説は本文 114 頁

[問1] 平成21年3月31日現在の貸借対照表価額

現金預金	資本準備金
千円	千円

[問2]

損益計算書

自平成20年4月1日 至平成21年3月31日

(単位：千円)

I 売上高		()	
II 売上原価			
1 期首商品棚卸高	()		
2 当期商品仕入高	()		
合計	()		
3 期末商品棚卸高	()		
合計	()		
4 ()	()	()	
売上総利益		()	
III 販売費及び一般管理費			
1 販売費	()		
2 一般管理費	()		
3 貸倒引当金繰入	()		
4 減価償却費	()		
5 ()	()	()	
営業利益		()	
IV 営業外収益			
1 受取利息	()		
2 ()	()	()	
V 営業外費用			
1 支払利息	()		
2 ()	()	()	
経常利益		()	
VI 特別利益			
1 ()	()		
2 ()	()	()	
VII 特別損失			
1 投資有価証券評価損	()	()	
税引前当期純利益		()	
法人税・住民税及び事業税		()	
法人税等調整額		()	
当期純利益		()	

商業簿記
会計学原価業
簿記算記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

	区 分		区 分		区 分
①		②		③	
④		⑤			

第2問

問1

問2

A		千円
B	×2年3月末	千円
	×3年3月末	千円
C	×1年度 (借 または 貸)	千円
	×2年度 (借 または 貸)	千円
D	×1年度 (借 または 貸)	千円
	×2年度 (借 または 貸)	千円

第3問

年 度	減価償却費
×1年度	千円
×2年度	千円
×3年度	千円

商業簿記 / 123回 - 問題は本文 24 頁, 解答・解説は本文 126 頁

決算整理後残高試算表

(単位：千円)

現金預金 ()		支払手形	1,520
受取手形 ()		買掛金	4,800
売掛金 8,500		設備購入手形 ()	
割賦売掛金 ()		貸倒引当金 ()	
繰越商品 ()		繰延割賦売上利益 ()	
建物 ()		退職給付引当金 ()	
備品 ()		資本金 ()	
土地 53,000		資本準備金 ()	
その他有価証券 ()		その他資本剰余金 ()	
関係会社株式 ()		利益準備金 ()	
前払利息 ()		任意積立金 ()	
自己株式 ()		繰越利益剰余金 ()	
仕入 ()		一般売上 ()	
繰延割賦売上利益戻出 ()		割賦売上 ()	
販売費 2,500		繰延割賦売上利益戻入 ()	
一般管理費 3,000		有価証券利息 ()	
棚卸減耗費 ()		受取配当金 70	
商品評価損 ()		<input type="text"/> ()	
支払利息 ()		<input type="text"/> ()	
取戻し商品 ()		<input type="text"/> ()	
減価償却費 ()			
退職給付費用 ()			
<input type="text"/> ()			
<input type="text"/> ()			
<input type="text"/> ()			
<input type="text"/> ()			
<input type="text"/> ()			
<input type="text"/> ()			

商業簿記

原価業計簿算記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

1	
2	
3	活動
4	勘定
5	基準

第2問

	×1年度	×2年度
繰延税金資産計上額		
流動資産の部	百万円	百万円
固定資産の部	百万円	百万円
繰延税金負債計上額		
流動負債の部	百万円	百万円
固定負債の部	百万円	百万円
法人税等調整額	百万円	百万円

第3問

1	千円
2	千円
3	千円
4	千円
5	千円

商業簿記 / 125回 - 問題は本文 30 頁, 解答・解説は本文 140 頁

決算整理後残高試算表

平成22年 3月31日

(単位: 千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	()	支払手形	(1,500)
受取手形	()	買掛金	(8,600)
売掛金	()	預り営業保証金	()
有価証券	()	貸倒引当金	()
繰越商品	()	未払費用	()
前払費用	()	未払法人税等	()
未収収益	()	未払消費税	()
繰延税金資産	()	繰延税金負債	()
建物	()	リース債務	()
土地	()	リース資産減損勘定	()
リース資産	()	長期借入金	()
満期保有目的債券	()	退職給付引当金	()
投資有価証券	()	資本金	(17,000)
破産更生債権等	()	資本剰余金	(5,000)
売上原価	()	利益剰余金	(8,071)
貸貨原価	()	その他有価証券評価差額金	()
販売費	()	売上	()
一般管理費	()	貸貨収入	()
建物減価償却費	()	受取配当金	()
リース資産減価償却費	()	受取利息	()
退職給付費用	()	有価証券利息	()
貸倒引当金繰入	()	有価証券運用益	()
租税公課	()	法人税等調整額	()
支払利息	()		
減損損失	()		
法人税等	()		
()	()		()

商業簿記

原価業計簿算記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適切な語句
1		
2		
3		
4		
5		

第2問

問1

I 欄 資産Aの簿価	II 欄 資産Aの減損損失
¥	¥

問2

	I 欄 各資産の簿価	II 欄 各資産の減損損失
資産グループB	¥	¥
資産グループC	¥	¥
共用資産	¥	¥

第3問

負	債	と	は	,	過	去	の	取	引
等	の	結	果	と	し	て	,	報	告
主	体	に	生	じ	る				
						で	あ	る	。

商業簿記 / 126回 - 問題は本文 36頁, 解答・解説は本文 151頁

問1 借方または貸方のいずれかを○で囲み, 金額を記入しなさい。

- ① 持分法による投資損益 (借方 または 貸方) ()円
- ② 段階取得に係る差損益 (借方 または 貸方) ()円

問2

連結貸借対照表

X3年3月31日

(単位:円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
現金預金	()	支払手形	()
受取手形	()	買掛金	()
売掛金	()	借入金	()
商品	()	貸倒引当金	()
満期保有目的債券	()	繰延税金負債	()
その他有価証券	()	その他負債	()
固定資産	()	資本金	()
繰延税金資産	()	資本剰余金	()
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()	利益剰余金	()
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()	<input style="width: 100%;" type="text"/>	()
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()	<input style="width: 100%;" type="text"/>	()
	()		()

連結損益計算書

自X2年4月1日至X3年3月31日

(単位:円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売上原価	()	売上高	()
諸費用	()	諸収益	()
税金等調整前当期純利益	()		
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()		()
法人税等	()	税金等調整前当期純利益	()
法人税等調整額	()		
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()		()
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()		()
当期純利益	()		()
<input style="width: 100%;" type="text"/>	()		()

商業簿記
会計学

原価業
簿記算記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

1	
2	
3	
4	
5	

第2問

設問 1		千円
設問 2		千円
設問 3		千円
設問 4		千円
設問 5	資産 ・ 負債 ・ 収益 ・ 費用	

第3問

設問 1		千円
設問 2		千円
設問 3		千円
設問 4		千円

商業簿記 / 128回 - 問題は本文 40頁, 解答・解説は本文 161頁

問1

貸借対照表

平成X年3月31日

(単位:千円)

現金預金	<input type="text"/>	買掛金	<input type="text"/>
売掛金	<input type="text"/>		<input type="text"/>
貸倒引当金	△ <input type="text"/>	社債	<input type="text"/>
商品	<input type="text"/>	その他負債	14,800
建物	15,000	資本金	22,000
減価償却累計額	△ <input type="text"/>	資本準備金	4,000
備品	<input type="text"/>	その他資本剰余金	2,300
減価償却累計額	△ <input type="text"/>	利益準備金	1,000
土地	20,000	任意積立金	7,500
投資有価証券	<input type="text"/>	繰越利益剰余金	<input type="text"/>
関係会社株式	<input type="text"/>	新株予約権	<input type="text"/>
その他資産	31,915	<input type="text"/>	<input type="text"/>
社債発行費	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>		
	<input type="text"/>		<input type="text"/>

問2

総平均法による当期中の商品払出単価 円

商品評価損 千円

商業簿記学記
原価業計簿算記
 117
 119
 120
 122
 123
 125
 126
 128

問 1

1	
2	
3	
4	
5	

問 2

1.

	(A)受取利息	(B)受取手形
(1)	千円	千円
(2)	千円	千円
(3)	千円	千円

2.

借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額

問 3

設問 1	円
設問 2	円
設問 3	円
設問 4	円
設問 5	円

工業簿記・原価計算 / 答案用紙

工業簿記 / 117回 - 問題は本文 46 頁, 解答・解説は本文 172 頁

商業簿記
会计学記

原価業
簿記算記

117

119

120

122

123

125

126

128

問1

購入原料価格差異	円 ()
----------	-------

問2

原料費の差異分析	原料配合差異	円 ()
	原料歩留差異	円 ()
直接労務費の差異分析	労働賃率差異	円 ()
	労働能率差異	円 ()
	労働歩留差異	円 ()
変動製造間接費の差異分析	予算差異	円 ()
	能率差異	円 ()
	歩留差異	円 ()
標準変動費差異合計		円 ()

問1, 問2の () 内には「有利な差異」の場合には F と記入すること。

「不利な差異」の場合には U と記入すること。

問3

実際損益計算書

(単位: 円)

売上高	()
標準変動費	()
標準貢献利益	()
標準変動費差異	()
実際貢献利益	()
固定製造間接費	()
棚卸資産金利	()
設備金利	()
販売手数料	()
固定一般管理費	()
残余利益	()

第1問

問1

	1 個当たり貢献利益	1 時間当たり貢献利益
部品 X	円	円
部品 Y	円	円

問2

	部品 X のみを製造・販売する場合	部品 Y のみを製造・販売する場合
貢献利益	千円	千円
営業利益	千円	千円

問3

部品 Y の最低販売価格	円
--------------	---

問4

	部品 X のみを製造・販売する場合	部品 Y のみを製造・販売する場合
貢献利益	千円	千円
営業利益	千円	千円

第2問

問1

	製品 A (100個)	製品 B (50個)	合 計
日商商店への売上原価	円	円	円

問2

	製品 A (100個)	製品 B (50個)	合 計
日商商店への売上原価	円	円	円

工業簿記 / 119回 - 問題は本文 50 頁, 解答・解説は本文 181 頁

第1問

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	

第2問

問1

ア		円	イ		円	ウ		円
---	--	---	---	--	---	---	--	---

問2

(1) 自家消費を考慮する場合

(単位:円)

	第1製造部	第2製造部	A補助部門	B補助部門
部 門 費	10,500,000	8,800,000	4,500,000	4,250,000
A 補 助 部 門			633,333	
B 補 助 部 門			1,200,000	
	—	—	(6,333,333)	()
製 造 部 門 費			0	0

製造部門に配賦されるB補助部門費の単価 = () 円

(2) 自家消費を無視する場合

(単位:円)

	第1製造部	第2製造部	A補助部門	B補助部門
部 門 費	10,500,000	8,800,000	4,500,000	4,250,000
A 補 助 部 門			—	
B 補 助 部 門				—
	—	—	()	()
製 造 部 門 費			0	0

製造部門に配賦されるB補助部門費の単価 = () 円

問3

- (1) サービスを内製する場合の差額原価 = () 円
 (2) X社から購入すべきサービス量 = () 単位
 (3) 内製する場合のサービス単価 = () 円

会
商
業
計
簿
学
記原
工
価
業
計
簿
算
記

117

119

120

122

123

125

126

128

問1

製品Aの年間生産・販売量	個
製品Bの年間生産・販売量	個
年間貢献利益	円

問2

製品Aの年間生産・販売量	個
製品Bの年間生産・販売量	個
設備1の製品A年間生産量	個
設備1の製品B年間生産量	個
設備2の製品A年間生産量	個
設備2の製品B年間生産量	個
年間貢献利益	円

問3

製品Aの年間生産・販売量	個
製品Bの年間生産・販売量	個
年間貢献利益改善額	円

問4

(1) 今年度末における取り替え時の正味差額キャッシュ・フロー	円
(2) 毎年の正味差額キャッシュ・フロー1年分	円
(3) 5年後のプロジェクト終了にかかわる正味差額キャッシュ・フロー	円
(4) 設備1を設備3に取り替える投資案の正味現在価値	円

正味差額キャッシュ・アウト・フローには、数字の先頭に△をつけること。

工業簿記 / 120回 - 問題は本文 54 頁, 解答・解説は本文 192 頁

問1

自製部品MA	自製部品MB	製品A	製品B
円	円	円	円

問2

貢献利益
円

問3

	自製部品MA	自製部品MB	買入部品PA	買入部品PB
消費量差異	円()	円()	円()	円()
消費価格差異	—	—	円()	円()

()のなかに借方差異ならば借, 貸方差異ならば貸と記入すること。

問4

	買入部品PMA	買入部品PMB
消費量差異	円()	円()
消費価格差異	円()	円()

()のなかに借方差異ならば借, 貸方差異ならば貸と記入すること。

問5

	製品製造部門	部品製造部門
製造間接費総差異	円()	円()

()のなかに借方差異ならば借, 貸方差異ならば貸と記入すること。

問6

予算差異	能率差異	操業度差異
円()	円()	円()

()のなかに借方差異ならば借, 貸方差異ならば貸と記入すること。

第1問

①	千円
②	千円
③	千個
④	千円
⑤	千個
⑥	千円
⑦	千円
⑧	千円
⑨	千円
⑩	千円

第2問

①		②	
③		④	
⑤		⑥	
⑦		⑧	

工業簿記 / 122回 - 問題は本文 58 頁, 解答・解説は本文 204 頁

予定損益計算書(単位:千円)

	7月	8月
売上高	()	()
売上原価	()	()
売上総利益	()	()
販売費・一般管理費	()	()
営業利益	()	()
支払利息	()	()
経常利益	()	()
固定資産売却損益	()	()
税引前当期純利益	()	()
法人税等	()	()
当期純利益	()	()

(注)固定資産売却損益は、売却損の場合、金額の前に△をつけること。

予定貸借対照表(単位:千円)

	7月	8月
流動資産		
現金	()	()
売掛金	()	()
製品	()	()
原料	()	()
小計	()	()
固定資産		
土地	()	()
建物・設備	()	()
減価償却累計額	()	()
小計	()	()
合計	()	()
流動負債		
買掛金	()	()
借入金	()	()
未払法人税等	()	()
小計	()	()
固定負債	()	()
株主資本		
資本金	()	()
資本剰余金	()	()
利益剰余金	()	()
小計	()	()
合計	()	()

商業簿記
会计学記原価簿記
工業簿記

117

119

120

122

123

125

126

128

問1

 円

問2

 円

問3

 円

問4

 円

問5

 円

問6

 円

問7

 円

工業簿記 / 123回 - 問題は本文 62 頁, 解答・解説は本文 213 頁

問1

仕 掛 品		(単位：円)	
月初仕掛品原価 ()	完成品製造原価 ()	}	製品勘定へ
原 料 費 ()	正 常 仕 損 費 ()		
直 接 労 務 費 ()	異 常 仕 損 費 ()		
製 造 間 接 費 ()	月 末 仕 掛 品 原 価 ()		
	原 価 差 異 ()		
()	()		

問2

原料数量差異	円
作業時間差異	円

問3

プロダクト・ミックス変更による差異	
原料数量差異	円
作業時間差異	円

問4

A-1とA-2のそれぞれに原価標準を設定したうえで標準原価計算を行ったと仮定した場合の月初仕掛品原価	円
--	---

会
商
業
簿
記
学
記

原
工
業
計
簿
算
記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

問1

正常仕損品	異常仕損品	合計
単位	単位	単位

問2

前工程費に関する完成品換算総量	単位
直接材料費Aに関する完成品換算総量	単位
直接材料費Bに関する完成品換算総量	単位
直接材料費Cに関する完成品換算総量	単位
加工費に関する完成品換算総量	単位

問3

完成品原価	千円
月末仕掛品原価	千円
仕損品原価	千円

問4

正常仕損費を含まない単位原価	正常仕損費を含む単位原価
千円	千円

問5

正常仕損率を10%と設定するなら、当月の営業利益は 円、(増加 , 減少)する。
 (増加または減少のいずれか適切な言葉を○で囲みなさい。)

第2問

問1

製品 Y	単位	製品 Z	単位
------	----	------	----

問2

月間営業利益	円
--------	---

問3

製品Zの販売単価が 円未満になると、最適セールス・ミックスは変化する。

工業簿記 / 125回 - 問題は本文 66 頁, 解答・解説は本文 225 頁

第1問

問1

損 益 計 算 書		(単位: 円)
売上高		25,000,000
売上原価		
標準売上原価	()	
標準原価差異	366,600	()
売上総利益		()
販売費及び一般管理費		4,155,400
営業利益		()

問2

①	円	②	円	③	円
④	円	⑤	円	⑥	円

問3

材料受入価格差異		円 ()
直接材料費差異	材料消費量差異	円 ()
直接労務費差異	労働賃率差異	円 ()
	労働時間差異	円 ()
製造間接費差異	予 算 差 異	円 ()
	能 率 差 異	円 ()
	操 業 度 差 異	円 ()

(注) 金額の後の()内には、借方差異ないし不利差異であれば、「借」または「不利」、貸方差異ないし有利差異であれば、「貸」または「有利」と記入しなさい。

第2問

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

商業簿記
会计学記

原価業
簿記算記

117

119

120

122

123

125

126

128

問1

- (1) 製品Bの製造・販売を開始した後に、製品Aを3個製造した場合には、製品Bの製造を何個犠牲にすることになるか。 個
- (2) 製品Bの製造を1個犠牲にするといくら利益を失うか。 円
- (3) 製品Aを3個製造すると、購入済みの材料aを売却した場合に得られるであろう収益をいくら犠牲にするか。 円
- (4) 製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを3個製造することの機会原価はいくらか。 円

問2

製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを1,500個製造、販売することは、製品Bのみを製造、販売する場合に比べて

円 { 有利
不利 (いずれかを○で囲む)

問3

アタッチメントをレンタルしない場合と比べて、このアタッチメントをレンタルするほうが、1カ月当たり

円 { 有利
不利 (いずれかを○で囲む)

問4

- (1) 円
- (2) 円
- (3) 円
- (4) 円

工業簿記 / 126回 - 問題は本文 70 頁, 解答・解説は本文 234 頁

第1問

A	① 原価企画 ② 利益計画 ③ 原価管理 ④ 採算把握 ⑤ 意思決定
B	① 複式簿記的 ② 管理会計的 ③ 随時断片的 ④ 常時継続的
C	① 管理会計的 ② 随時断片的 ③ 特殊調査的 ④ 常時継続的
D	① 製品 ② 収益 ③ 給付 ④ 部門 ⑤ 成果物 ⑥ 原価計算対象
E	① 各部門 ② 現場 ③ 財務会計 ④ 管理会計 ⑤ 期間損益計算

第2問

問1 全部原価計算の営業利益は、直接原価計算の営業利益に比べて、

円 (大きい ・ 小さい)

※()の中は適切な方を○で囲みなさい。以下同じ。

問2 全部原価計算の営業利益は、直接原価計算の営業利益に比べて、

円 (大きい ・ 小さい)

問3 直接原価計算の場合、2010年5月の営業利益は、4月の営業利益に比べて、

円 (大きい ・ 小さい)

問4 全部原価計算の営業利益は、生産量が10個あがるごとに、

円ずつ、(増加する ・ 減少する)

問5 原価差異の追加配賦を行った場合の全部原価計算の営業利益は、直接原価計算の営業利益に比べて、

円 (大きい ・ 小さい)

会
商
業
計
簿
学
記

原
工
価
業
計
簿
算
記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	

第2問

問1

(1)

工 程	完成品総合原価	完成品単位原価
第2工程	円	円/kg
第3工程	円	円/kg

(2)

(単位：円)

	製品A	製品B	製品C
売 上 高			
売 上 原 価			
売上総利益			

問2

(1)

工 程	完成品総合原価	完成品単位原価
第2工程	円	円/kg
第3工程	円	円/kg

(2)

(単位：円)

	製品A	製品B	製品C
売 上 高			
売 上 原 価			
売上総利益			

工業簿記 / 128回 - 問題は本文 74 頁, 解答・解説は本文 244 頁

問1

素 材 x	円	(借方 , 貸方)
半製品 x - 2	円	(借方 , 貸方)
半製品 x - 3	円	(借方 , 貸方)

問2

第1加工工程	円	(借方 , 貸方)
第2加工工程	円	(借方 , 貸方)
仕 上 工 程	円	(借方 , 貸方)

問3

仕 掛 品		(単位:円)
月初仕掛品 ()	製 品 ()	
素 材 ()	月 末 仕 掛 品 ()	
直 接 労 務 費 ()	外 注 先 負 担 分 ()	
直 接 経 費 ()	原 価 差 異 ()	
製 造 間 接 費 ()		
()		()

会
計
学
記

原
工
価
計
算
簿
記

117

119

120

122

123

125

126

128

第1問
問1

製品別実際損益計算書		(単位：千円)		
	製 品 X	製 品 Y	合 計	
売 上 高	()	()	()	
標 準 変 動 費 :				
製 造 原 価	()	()	()	
販 売 費	()	()	()	
計	()	()	()	
標 準 貢 献 利 益	()	()	()	
標 準 変 動 費 差 異	()	()	()	
実 際 貢 献 利 益	()	()	()	
固 定 費			()	
営 業 利 益			(70,000)	

問2

差 異 分 析 表		(単位：千円)		
	製 品 X	製 品 Y	合 計	
販 売 価 格 差 異	(有利, 不利)	(有利, 不利)	(有利, 不利)	
売 上 高 販 売 数 量 差 異	(有利, 不利)	(有利, 不利)	(有利, 不利)	
変 動 費 販 売 数 量 差 異	(有利, 不利)	(有利, 不利)	(有利, 不利)	
標 準 変 動 費 差 異	? (有利, 不利)	? (有利, 不利)	? (有利, 不利)	
固 定 費 差 異	—	—	(有利, 不利)	
合 計	—	—	30,000 (有利, 不利)	

(注) ()内の「有利」または「不利」を○で囲みなさい。差異が0の場合には○で囲む必要はない。

第2問

	製品 X (100個)	製品 Y (50個)	合 計
顧客 A への売上原価	円	円	円

最新問題・答案用紙

商業簿記 / 129回 - 問題は本文 254 頁, 解答・解説は本文 288 頁

決算整理後残高試算表

X2年3月31日

(単位: 千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金		支払手形	
受取手形		買掛金	
売掛金		貸倒引当金	
繰越商品		未払費用	
前払費用		未払法人税等	
繰延税金資産		繰延税金負債	
未収収益		()	
建物		社債	
備品		退職給付引当金	
土地	150,000	建物減価償却累計額	
その他有価証券		備品減価償却累計額	
破産更生債権等		資本金	100,000
売上原価		資本準備金	
販売費		利益準備金	
一般管理費		別途積立金	
貸倒引当金繰入		繰越利益剰余金	
減価償却費		その他有価証券評価差額金	
退職給付費用		売上	
社債利息		受取配当金	
投資有価証券評価損		()	
法人税等			
()			

解答上の注意: ()はすべて埋まるとは限らない。

最新問題

129

131

132

134

第1問

1	a	b	c	
2	d	e		
3	f	g	h	i
4	j			

第2問

1 A社のケース (X3年3月期決算における下記の金額)

- ① 利益剰余金当期首残高への影響額 (増加 または 減少) 円
- ② 当期の減価償却費の金額 円
- ③ 従来の方法に比べての税引前当期純利益への影響額 円
(増加 または 減少)

2 B社のケース (X3年3月期決算における遡及処理後の下記の金額)

- ① 利益剰余金当期首残高への影響額 (増加 または 減少) 円
- ② 当期の売上原価の金額 円
- ③ 従来の方法に比べての税引前当期純利益への影響額 円
(増加 または 減少)

第3問

繰延税金資産とは、税効果会計を適用した場合における将来減算一時差異に係る税金の額をいう。

これらは、

ために、将来の経済的便益があるものとして、その資産性が認められる。

工業簿記 / 129回 - 問題は本文 258 頁, 解答・解説は本文 298 頁

問1

第1工程—製品X

月初仕掛品原価		完成品原価	
原料費 ()		原料費 ()	
加工費 ()		加工費 ()	
当月製造費用		月末仕掛品原価	
原料費 ()		原料費 ()	
直接労務費 ()		加工費 ()	
製造間接費 ()		仕損品(原料)	1,800,000
()		()	

問2

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

問3

製品X	円	製品Y	円
-----	---	-----	---

問4

製品X	円	製品Y	円
-----	---	-----	---

問1

	時間
--	----

問2

既設ライン	個
新設ライン	個

問3

	時間
--	----

問4

	円
--	---

問5

	円
--	---

問6

	円
--	---

問7

	円
--	---

問8

	円
--	---

最新問題・答案用紙

商業簿記 / 131 回 - 問題は本文 262 頁, 解答・解説は本文 306 頁

問1

a		d	
b		e	
c			

問2

連結貸借対照表

X2年度末

(単位：千円)

現金預金 ()	仕入債務 ()
売上債権 ()	借入金 ()
棚卸資産 ()	資本金 ()
有形固定資産 ()	資本剰余金 ()
のれん ()	利益剰余金 ()
その他有価証券 ()	その他有価証券評価差額金 ()
	() ()
	() ()
()	()

問3

千円

最新
問題

129

131

132

134

問1

1	
2	
3	
4	
5	

問2

	区分法	一括法
社債発行時社債計上額	[1] 千円	[2] 千円
1. における社債利息計上額	[3] 千円	[4] 千円
2. における株式への転換請求により生じる資本金組入額	[5] 千円	[6] 千円
3. における社債償還に伴う新株予約権戻入益	[7] 千円	
3. における社債償還に伴う社債償還額		[8] 千円
4. における自己株式処分差額	[9] 千円	
自己株式処分差額の貸借対照表上の最も適切な記載区分	[10]	

問3

設 問		
1	B社の純資産と収益還元価値の平均額	千円
2	A社の1株当たり企業評価額	円
3	A社株式の1株当たりのB社株式交換比率	株
4	A社の新株発行に伴う資本金の増加額	千円
5	「のれん」計上額	千円

工業簿記 / 131 回 - 問題は本文 266 頁, 解答・解説は本文 321 頁

問1

ケースB	ケースC
円	円

問2

仕 掛 品		(単位:円)
直接材料費	13,938,350	製 品 ()
直接労務費 ()		月末仕掛品 ()
製造間接費 ()		
()		()

問3

製品 A	製品 B	製品 C
円	円	円

問4

 円

問5

 円

問6

 円 (増加 減少)する

増加 減少のいずれか該当するほうを○で囲むこと。

最新問題

129

131

132

134

①	千円
②	千円
③	
④	
⑤	円
⑥	
⑦	個
⑧	
⑨	千円
⑩	
⑪	
⑫	千円
⑬	千円
⑭	千円
⑮	
⑯	

最新問題・答案用紙

商業簿記 / 132回 - 問題は本文 270 頁, 解答・解説は本文 333 頁

決算整理後残高試算表

平成24年3月31日

(単位:千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金		支払手形	
受取手形		買掛金	
売掛金		未払法人税等	
繰越商品		未払費用	
未収金		1年以内返済予定長期借入金	
回収業務資産		貸倒引当金	
前払費用		リース債務	
金利スワップ資産		建物減価償却累計額	
建物		備品減価償却累計額	
備品		リース資産減価償却累計額	
リース資産		資本金	
土地		資本準備金	
不渡手形		利益準備金	
仕入		任意積立金	
棚卸減耗損		繰越利益剰余金	
商品評価損		繰延ヘッジ損益	
貸倒引当金繰入		売上	
減価償却費		受取利息	
販売費・一般管理費		長期貸付金売却益	
支払利息		貸倒引当金戻入	
手形売却損			
保証債務損失			
法人税等			

最新問題

129

131

132

134

第1問

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適切な語句
1		
2		
3		
4		

第2問

(1)		円
(2)		円
(3)		円
(4)		円
(5)		円
(6)	(借 または 貸)	円
(7)	(借 または 貸)	円

第3問

(負ののれんの定義)

負ののれんとは,

である。

(負ののれんの会計処理)

として処理される。

(そのように会計処理する理由)

工業簿記 / 132回 - 問題は本文 274 頁, 解答・解説は本文 343 頁

問題 1

問 1

中間生産物 A の原価標準
円/kg

問 2

購入原料価格差異
円 (有利, 不利) いずれかを○で囲みなさい。

問 3

原料配合差異
円 (有利, 不利) いずれかを○で囲みなさい。

問 4

原料歩留差異
円 (有利, 不利) いずれかを○で囲みなさい。

問 5

労働価格差異	労働能率差異	労働歩留差異
円 (有利, 不利)	円 (有利, 不利)	円 (有利, 不利)

有利な差異の場合には有利に, 不利な差異の場合には不利に○をつけなさい。

問 6

消費差異	能率差異	不働能力差異	歩留差異
円 (有利, 不利)	円 (有利, 不利)	円 (有利, 不利)	円 (有利, 不利)

有利な差異の場合には有利に, 不利な差異の場合には不利に○をつけなさい。

問 7

第 2 工程完成品総合原価
円

問題 2

①	②	③	④
---	---	---	---

問題 1

600個分の注文を引き受けることは、引き受けない場合より、()円

(有利 不利)。

いずれかを○で囲みなさい。

問題 2

製品 A の製造を減らして、製品 B を 100 個製造販売することは、製品 A のみを製造販売するより、()円(有利 不利)。

いずれかを○で囲みなさい。

問題 3

問 1 円

問 2 円

問 3(1) 円

(2) 円

(3)

(A 案 B 案) が有利。

いずれかを○で囲みなさい。

A 案と B 案の正味現在価値の差は次の式で求めることができる。

20,000,000円 - 20,000,000円 ×

最新問題・答案用紙

商業簿記 / 134回 - 問題は本文 278 頁, 解答・解説は本文 350 頁

問1

連結貸借対照表

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産		流 動 負 債	
棚 卸 資 産		固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		資 本 金	
の れ ん		利 益 剰 余 金	
そ の 他 有 価 証 券		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	
		少 数 株 主 持 分	
合 計		合 計	

連結包括利益計算書

(単位:千円)

当 期 純 利 益	()
少 数 株 主 利 益	()
少 数 株 主 利 益 調 整 前 当 期 純 利 益	()
そ の 他 の 包 括 利 益	()
包 括 利 益	()

問2

T社個別貸借対照表

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産		流 動 負 債	
棚 卸 資 産		固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		資 本 金	
の れ ん		利 益 剰 余 金	
合 計		合 計	

問3

連結貸借対照表

(単位:千円)

資 産	金 額	負債・純資産	金 額
当 座 資 産		流 動 負 債	
棚 卸 資 産		固 定 負 債	
有 形 固 定 資 産		資 本 金	
の れ ん		利 益 剰 余 金	
そ の 他 有 価 証 券		そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	
		少 数 株 主 持 分	
合 計		合 計	

最新
問題

129

131

132

134

第1問

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

第2問

問1

資産グループA	資産グループB	資産グループC

問2

(単位：千円)

資産グループA	資産グループB	資産グループC

問3

(1)

(単位：千円)

	各資産の減損損失	各資産の帳簿価額
資産グループA		
資産グループB		
資産グループC		
共用資産		

(2)

(単位：千円)

	各資産の減損損失	各資産の帳簿価額
資産グループA		
資産グループB		
資産グループC		
共用資産		

第3問

ア	イ	ウ

エ	オ

工業簿記 / 134 回 - 問題は本文 282 頁, 解答・解説は本文 364 頁

問 1

仕 掛 品		(単位：円)
月初仕掛品 ()	製 品 ()	
直接材料費 ()	月末仕掛品 ()	
直接労務費 ()	原 価 差 異 ()	
製造間接費 18,600,000		
()	()	

問 2 直接材料消費量差異

円(有利差異, 不利差異)

問 3 直接作業時間差異

円(有利差異, 不利差異)

問 4 製造間接費総差異

円(有利差異, 不利差異)

問 5

予 算 差 異	円(有利差異, 不利差異)
能 率 差 異	円(有利差異, 不利差異)
操 業 度 差 異	円(有利差異, 不利差異)

問 6

材料 A 第 1 工程消費量差異	円(有利差異, 不利差異)
材料 B 第 1 工程消費量差異	円(有利差異, 不利差異)
材料 B 第 3 工程消費量差異	円(有利差異, 不利差異)
前工程完成品第 2 工程消費量差異	円(有利差異, 不利差異)
前工程完成品第 3 工程消費量差異	円(有利差異, 不利差異)

問 7

第 1 工程作業時間差異	円(有利差異, 不利差異)
第 2 工程作業時間差異	円(有利差異, 不利差異)
第 3 工程作業時間差異	円(有利差異, 不利差異)

問 1

(単位：万円)

	20X4年 3 月期	20X5年 3 月期	20X6年 3 月期	20X7年 3 月期	20X8年 3 月期
正味キャッシュ・フロー					

キャッシュ・アウトフローとなる場合には、金額の前に△をつけること。

問 2

()万円

キャッシュ・アウトフローとなる場合には、金額の前に△をつけること。

問 3

回収期間は()年

問 4

加重平均資本コスト率は()%

問 5

①		②	
③		④	
⑤	正	負	⑥
⑦	大き	小さ	⑧ 製品 X 製品 Y